



かえで ゆうびん 12月号

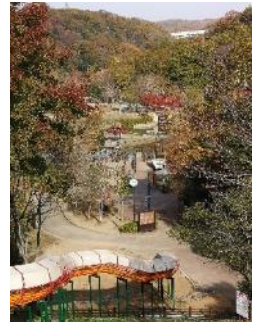
2021年12月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園 かえで保育園
園長 引地 美津代

今年も残すところ1か月となりました。昨年とは違って10月より少しずつ元の生活を思い出し、少しずつ人との距離も近づくことができるようになってきていました。やっといろいろなことができるようになってきた!!とちょっと安堵していた矢先に「オミクロン株」の新型が世界中に広がりつつある・・・という報道に落胆してしまいました。いつまでこんな思いをしないといけないのかちょっと心が折れてしまいます。この「オミクロン株」については感染力や症状、ワクチンの効き目等何もわかっていないようですが、どうぞ、水際対策が成功し、平和な年明けとなり、穏やかな毎日がこの先も送れますように祈りたいです。

先日、幼児は久しぶりにバス遠足で園外保育に出かけられました。当たり前に出かけられる事がこんなに有り難く、何より子どもの喜ぶ顔が見られて皆が幸せなひと時を過ごせました。これからもできることを何とか見つけながら何とか楽しんでいきたいと改めて感じました。

しあわせの村では思いっきり走り回り、待ちに待ったお昼タイム。お母さんのおにぎりを大切にすこしずつ、おいしそうに口にほおばり、朝どのようにしてこのおにぎりをお母さんが作ってくれたか。水筒のお茶もどうして入れたかなど嬉しそうに教えてくれました。毎日の保育園のお昼ごはんも美味しいですが、緑に囲まれた自然の中で愛情がいっぱい入ったおにぎりは最高のごはんになりました。

お忙しい中のおにぎりづくり。ありがとうございました。🍱🍱🍱🍱



今年は保護者の方々の行事参加が開催できずで終わってしまうかと思いましたが11月には10年の記念の集いを開催することができました。音量で近隣の方にご迷惑をおかけしましたが、中国の獅子舞はいかがでしたか?また、職員みんなの思いがギュッと詰まった記念誌はいかがでしたでしょうか?全員で作った「モザイクアート」も近日中に園内に掲示したいと最終仕上げを進めています。

10年の締めくくりとして皆さんで短時間ででしたが園庭で集まることができ、何より元気で卒園生や保護者の方とも再会できたことが何よりの思い出となりました。10年間の様々な思い出がよみがえり感無量になりましたが、これからも「かえでの故郷」の歌のようにいつでもだれでもが集まり笑顔になれる場所でありたいと思います。

さて、この「かえでゆうびん」ですが、年々閲覧している方が減ってきています。保護者の方々とゆっくりお話しできないことを少しでも埋めていきたいと、毎月お子様の様子や情報をお伝えしています。

また、保護者の方からのメッセージや今年も「お父さんのコーナー」にはユニークなお話が掲載されています。なぜ、紙で配布してくれないのか・・・と思われる方もいらっしゃると思いますが、

かえで保育園のコンセプトとして「自然に優しい園づくり」「資源を大切にしたい」という考えでたくさんの情報が満載のお便りは紙に印刷していません。献立や行事の情報のみを冷蔵庫に貼ったりするのではなく、いつでも携帯やpcでゆっくり読んでいただき、園の様子や考え方を理解して頂こうと丁寧に作成しネットでの閲覧としています。どうぞ、お昼の休憩時や休みの日にじっくり読んでいただきたいと思います。また、お知らせや情報を何も見られず、持ち物や提出物を忘れる家庭のお子様は園生活が気持ちよく送れません。学校のお便りや情報と同じように園のお知らせや情報も大切です。どうぞ、かえでゆうびんをよく読んでいただけますよう再度お願いします。

あっという間に寒い冬がやってきました。木枯らしが吹く季節、近隣のケヤキの木の落ち葉が園の外周や園庭にまで舞い込んできます。1か月程の期間ですが、毎朝夕に落ち葉の掃除をしながら（掃いても掃いても舞い込むのは大変ですが・・・）今年も寒い冬がやってきたなと感ずることができました。

先日、園庭に舞い込んだ落ち葉を子どもたちが拾い、焼き芋に使いました。園庭の畑で収穫したさつまいもは小さかったのでみそ汁などに使いましたが、頂いた立派なお芋で焼き芋を楽しめました。園庭での焼き芋は恒例となり、今年も異年齢のペアで包んだお芋はおいしい焼き芋に出来上がりました。同時にお世話になっている方から蕪や大根もたくさん頂いたので焼き芋の種火で大根や蕪をコトコトとじっくり煮て、仕上げにフジモリ醤油の味噌入りをのせて、ホクホクたくさん食べました。大根やかぶの皮で切り干し大根も作りました。只今、乾燥中。出来上がりが楽しみです。

11月は感染性胃腸炎が園内で大流行してしまい、みなさまにはご心配をおかけしました。今回再度園内での嘔吐・排泄物の処理の仕方の見直しを職員全体で行い、手順の共有やマニュアルも変更しました。今までの手順でも保健所からの指摘などはありませんでしたが同じようなことがないように改善していきます。寒くなると、体調を崩しやすくなります。皆様が健康で過ごせるようにこまめな手洗いや健康管理を行い、楽しい年末をお迎えください。

主幹保育教諭 藤森 寿美

各地のニュースで“底冷え”という言葉が聞かれる程、寒さが増してきましたね。

寒くなる季節、皆さんは“ほっこりできる瞬間”と聞くと、どのような光景が思い浮かびますか。かえで保育園では、日中の階段の踊り場に陽が差してぽかぽか心地よいほっこりスポットとなります。子どもたちは心地よい場所をよく知っていて、気がつくと階段の踊り場にせっせと将棋盤を運び将棋を指していました。よく思い出してみると、いぶき組の頃、お昼寝から目覚めると階段の踊り場で陽に当たりながら、しばらくまどろんでいたなあ…と懐かしい光景が浮かびました。

ぼくのお気に入りの場所が、“ぼくら”の場所になっているようです。

先日、保育園から病院を受診した時のこと、待合室で絵本を読んだり絵を描いたりしながら順番が回ってくるのを待っていました。「まだどうぞってよばれないね」ようやく診察を終えて窓から見える景色を眺めていると、段々と陽がおちてきました。「おそと、暗くなってきたね」と声を掛けると「まだ保育園のおうちかえらないの？」と尋ねてくれたのです。暗くなっていく外の景色を見て“帰りたい場所”の一つが保育園であったこと、そして保育園をもう一つの“おうち”と感じてくれていること、これからも大切しなければ…と心の中で思いました。「保育園のおうち帰ろうね」と一緒に手を繋いで歩いた帰り道、いろんな話を聞かせてくれました。角を曲がって保育園が見えた時、ぎゅっと手をひいて、急ぎ足で保育園に向かうのでした。

おうちに帰った時にあかりが灯っていると、何だかほっとしますよね。保育園も同じように“みんなが待っている”という安心感とぬくもりが、子どもたちにとっても、保護者の方にとっても感じられるよう、いつでもあかりの灯った場所でありたいです。

主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：「友だちとの関わりを楽しむ」「身体全身を使って遊ぶことを楽しむ」

うた：「ジングルベル」「てをたたきましょう」「あかはなのトナカイ」

わらべた「おちょず」「まにまにけむし」

風が冷たくなり、少しずつ寒くなってきました。最近はボールに興味をもって投げたり、蹴ろうとしたり、転がるボールを追いかけて身体を動かし楽しんでいます。自分でやってみようとする姿も見られ、お互いに真似することで子どもたち同士の関わりも増えてきました。“一緒”の楽しさや喜び共感することが出来るよう担任間でも見守り、保育を進めていきます。

“くしゃくしゃ！いい音だね”

交通公園へ落ち葉やどんぐりを拾いにバギーに乗り散歩に出掛けました。たくさんの落ち葉を見るとバギーから身を乗り出しそうな程、目をきらきら輝かせていました。バギーから降り落ち葉の上を歩きだすと、サクサク鳴る音や手で握るパリパリ鳴る音を何度も楽しんでいます。保育者が落ち葉を持ち上げ下に落とすと、ヒラヒラ落ちる葉っぱに「わぁ～」と拍手で喜び、保育者と同じように真似をしていました。指先でどんぐり



を拾おうとした時は、つるつるして滑りながらも何度も摘まもうとしていました。この日から、園庭に落ちている葉っぱを拾い、細かくちぎることを楽しんでいます。テラスではちぎった落ち葉が飛んでいき、追いかける姿もあります。幼児さんからは葉っぱお化けを作って「おばけだよ～」「可愛い？」と見せに来てくれると嬉しそうにしています。落ち葉やどんぐりで毎日楽しむ様子を、次はどんな遊びに発展していくのだろうととても楽しみです。これからも自然と触れあう楽しさを体験していきます。

“できたよ”



園庭で遊ぶ時間も長くなり、鉄棒に手を伸ばしぶら下がり、階段を登り自分ですべり台を滑り身体全身を使って楽しんでいます。階段から園庭にいる友だちに手を振っているのを見つけると“自分も！”と築山に登り階段を上手に登り一緒に楽しんでいます。鉄棒では下を潜っていたのが、鉄棒の下につくと“つかまらせて”と手を上に伸ばし保育者の顔を見えています。ぶら下がると“すごいでしょ？”と自慢げな表情で周りを見えています。平均台に跨り前に進んで、友だちと一緒に顔を見合わせて座っています。これからますます寒くなってきますが、身体を使って遊ぶ楽しさを伝えていきたいです。



“担任の思い”

室内でもたくさん身体を動かして遊ぶことができるように、階段状のカラーマットを凸凹にして上り下りを繰り返しています。バランスボードは落ちないように慎重に歩き、ゆらゆら揺れるととっても嬉しそうにしています。これからも子ども達が楽しくたくさん身体を動かし、興味のあること、楽しい発見や気づきを保育の中に取り入れていきたいです。

～ふたばぐみ～

ねらい：「友達や保育者と一緒に、体をたくさん動かしてあそぼう」

うた：「あわてんぼうのサンタクロース」「あかはなのトナカイ」「もみすりおかた」「こっちのたんぽ」

スポーツの秋、食欲の秋というように、園庭では保育者やお友だちと追いかっこやボールで遊ぶ様子や、食事の時は「これなに？」「にんじん！きゅうり！」と食材に興味をもつ様子など、様々なことに意欲的な子ども達の姿が多く見られました。12月から更に寒くなりますが、体調管理をしていきながら、身体を動かす楽しさを子ども達と感じながら過ごしていきたいと思います。

“どんぐりころころ～転がし絵～”

園庭でもどんぐりを見つけると毎日嬉しそうに教えてくれます。散歩で交通公園に行くと、たくさんのどんぐりに嬉しそうな子ども達。両手いっぱいどんぐりを持ってたくさん集めてくれました。散歩の時に拾ったたくさんのどんぐりを使って、転がし絵をしました。園庭で絵の具の準備をしていると、「これなに？」と数人集まってきました。「どんぐりころころする？」と聞くと「する！」と椅子に座って準備万端の子ども達です。絵の具を付けたどんぐりを紙の上に置くと、転がす前にどんぐりをつんつんと触る子どもが多くいました。手に絵の具がつくと、にこっと笑って絵の具が付いた手を見せてくれました。両手で入れ物の持ち手を持って上下に動かし、どんぐりを転がし始めると「わぁ」と嬉しそうな子ども達の声が聞こえました。一度転がすと何度も何度も腕を動かして転がしていました。保育者の真似をして「ころころ～」と声に出して転がす子どももいました。白い紙に綺麗な模様ができたので「おしまいする？」と聞いても首を振って「まだする」と、どんぐりに何度も絵の具をつけて夢中で楽しんでいました。



“パラバルーン”

つぼみ組と散歩に出かけた時にふたば組初めてのパラバルーンをしました。パラバルーンをひろげみんなで輪になり、顔を見合わせると楽しそうな表情やお兄さんやお姉さんに囲まれて少し緊張している表情など、様々な子ども達の表情が見られました。パラバルーンをしっかりと持ち、保育者と一緒に手を上下に動かしたり、高く手を上にあげたりして楽しみました。後日、保育園でパラバルーンを出すと、散歩の時を思い出したのか自然と集まってきました。パラバルーンの中に入ると笑顔いっぱいの子も達。中が気に入ったのかなかなか出てこない子どももいました。運動発表会の日、つぼみ組と一緒にふたば組もパラバルーンで参加しました。自分が参加していない時間も築山や部屋の中から運動発表会の様子を夢中で見ていました。幼児のパラバルーンにまた入れてもらいたいです。



“担任の思い”

2021年も残り一ヶ月となりました。おぼつかない足取りだった子どもが走り回って遊ぶようになったり、言葉がたくさん増え保育者との会話を楽しむようになったりと、たくさんの成長を保護者の方と共に感じられ嬉しく思います。また、友達との関係性も少しずつ出てきました。誰かが泣いていると保育者に教えてくれて、頭を撫でてあげるなど友達に優しくできる姿に嬉しく思います。これからも優しい気持ちが育めるように友達との関わりを見守っていききたいと思います。

福井真裕子 立田瑛怜菜 松岡桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：「異年齢での関わりを楽しむ・2人組や少人数での遊びを楽しむ」

うた： 赤鼻のトナカイ・シングルベル・お正月

かえで保育園ではつぼみも含めて異年齢での交流をしています。11月からひかり組さんとペアを決めてお世話してもらう日々が始まりました。お昼寝から起きたらひかり組さんが起こしに来てくれたり、公園へ一緒に手を繋いで出かけ遊んだり…。関わりが増えた事でひかり組さんが気に掛けて声を掛けてくれる事も多くなり、お世話してもらう事が嬉しい様子です。まだお話す事は恥ずかしい様子も見えますが同じ保育園にいるお兄さん、お姉さんが優しく接してくれていて楽しそうです。

～西宮神社へお参りに行ってきたよ～

11月に入りつぼみになって初めて西宮神社まで歩いて散歩へ出かけました。4.5月当初は公園までの道のりも帰りになると疲れた様子が見えた子ども達でしたが、片道30分程かかる神社まで作った鞆をぶら下げ、友達や保育者と楽しく会話しながら遅く歩いて



いる姿に成長を感じました。行き帰りの歩道橋では上から車やトラックが走る姿に大興奮で釘付けでしたよ。神社へ到着すると全員でお参りへ行きました。「みんなが元気で風邪も引かず大きくなりますように神様見ててくださいね」とみんなでお祈りしました。保育者を真似てお辞儀をし、手を合わせみんなの健康をお祈りしお参りする事ができました。お参り後は神社内にいる鯉に餌やりをし、散策しました。橋から鯉を眺め「どうぞ」と優しく餌を何度もあげて楽しむ事が出来ました。

～どんぐりマラカスを作ろう！～

公園や園庭で拾ったどんぐりを使い製作を行いました。R1の容器に油性ペンで好きな絵を描きました。「ママとパパを描く」というお友達もいれば、好きな色を選んで「見てみて！」と嬉しそうに見せてくれる子もいました。容器に色を塗った後は好きな色の画用紙を3枚選びました。歳の数だけ一緒に保育者と数えながら、数についての認識もしました。その後は、ハサミを使って画用紙を切り容器の中に入れました。ハサミの持ち方も正しく持つ事ができるようになり、短冊形の画用紙を1回切りで切る事ができるようになってきました。色を塗ってハサミで切り容器に入れた後はどんぐりを入れて、完成！色んな色のマラカスが出来上がりました。



後日朝のお集りでピアノの音楽に合わせて音を鳴らし「どんぐりころころ」を歌いながらマラカスを振って自分達で作った楽器との触れ合いを楽しみました。これからも様々な楽器や音に触れる機会を作っていく予定です。

“担任の思い”

お休みの日の出来事をよく伝えてくれるようになりました。「公園行ってきたの」「〇〇食べたんだ～」と嬉しそうに保育者や友達に話しています。言葉で自分の思いや考え、楽しかった出来事が伝わる喜びを感じているようです。又、言葉でのやりとりを子ども同士でも楽しむようになり、最近では「後で貸してね」と待つ事ができるようになってきたり、「あそぼ～」「いいよ」と誘い合って遊んだりする姿もあります。これからも言葉で伝える事を大切に子ども達の関わりを見守っていきたいです。

今井 奈沙 坪金 玲奈 小城 美紗

～いぶきぐみ～

ねらい：「簡単なルールのあるあそびを楽しむ」「身体が温まる方法を知り、健康に過ごす」

うた：「赤鼻のトナカイ」「ジングルベル」「やまびこさん」

朝と夕方の園庭も、寒暖の差が激しくなってきました。朝一番園庭に出た際には「鬼ごっこしよう！」「マスカット踊りたい！」などと子ども達が自ら考えて保育者や友達を誘う姿が見られます。また、日向に座って「おひさまがあたたかいんだ」と日向ぼっこをしている子もいて、冬の過ごし方を考えています。寒さをしのぐための方法を工夫することも一つですが、身体を動かしてあそぶことも取り入れることで、身体が温まることを知り、友だちと楽しさを共有する喜びを味わう機会にもなればと考えています。

“おおきくなあれ”



朝園庭に出ると A ちゃんに「先生来て！」と腕を引っ張られ、二階テラスのフリージアの植木鉢の前に連れてきてくれました。「見て見て！」と A ちゃんが指さす方を見ると、10月に植えたフリージアの球根から芽がでて、大きくなっています。「昨日はここには生えてなかったのに、芽が出てるよ！」と教えてく

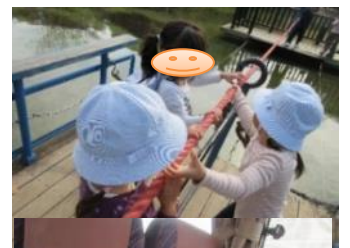


れました。確かに昨日はなかった芽なのですが、毎日観察していないと気づくことは難しいです。「こんな小さいのよく気づいたね」と聞くと、「だって毎日お水あげてるもん」と言いながら水やりをしていました。他に遊びたいことも沢山ある中で、育てている植物の事を毎日考えてくれているやさしさにほっこりしました。植物が成長する様子を楽しみ、生き物をお世話する面白さを味わってほしいです。



“初めてのバス遠足”

「あと何回寝たら遠足行くの？」と1ヶ月前頃からカウントダウンしていたいぶきさん。「バスに乗ってお出かけるの！？」「おにぎり何味にしようかなあ〜」お友だちと一緒に遠くに出掛けて、おにぎりを食べる事を楽しみにしているようでした。当日、ワクワクドキドキしながらバスに乗り込み、しあわせの村に到着しました。バスを降りて少し進むと大きな芝生の広場がありました。あまりの広



さに子ども達は「ひろーい！」「どこまで続いているの〜？」と大興奮でした。クラス皆で横に並び、手を繋ぎながら「いぶきぐみ〜」を掛け声に集合写真を撮パシャリ。写真を撮った後はトリム園地に移動して、大きなローラーすべり台やロープスライダーなどかえで保育園には無いたくさんの遊具で目一杯遊びました。いかだに乗って綱を引っ張って島渡りをする遊具は、一人の力では渡ることは難しく複数人で協力しなければなりません。みんなでいかだに乗りこんでさあ出発！「〇〇ちゃんも引っ張って！」「オーエス！オーエス！」とみんなで声を掛け合いながら協力して綱を引っ張り、反対側の島に無事到着する事が出来ました。到着した子ども達は「ついたー！」と達成感に満ち溢れているようでした。一人では難しいことも、友だちと一緒に協力する事で出来る事が増えることを知ってもらえたらいいなと思います。

“担任の思い”

いぶき組の子ども達にとって初めてのバス遠足でした。話を聞いていると、バスに乗ってお出かける事にワクワクしている子、おにぎりを食べる事を楽しみにしている子、友だちと一緒に出掛けることを楽しみにしている子…みんなそれぞれに楽しみがあるのだと感じました。帰りのバスでは発車してすぐ寝てしまう子が多く、全力で楽しんでくれたのかなとほっこりしました。子ども達にとって心に残る遠足になったら嬉しいです。

星加 由美子・小寺 涼香・峰 夏音

～ひかりぐみ～

ねらい：「年下のお世話を楽しむ」「興味のあることに積極的に取り組む」

うた：「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」「たきび」

11月の運動発表会ごっこでは、普段の体操遊びだけでなく様々な競技に挑戦し、友達と協力して頑張る姿が見られました。去年よりも出来るようになったことが増え、遊びの中でも身体を動かして遊び、ボールやロープを使った遊びを楽しんでいます。だいちの表現遊びを見て、「すごかった！」「ぼくもやってみたいなあ」と話をする姿も見られました。憧れのだいち組の姿を追い掛けてこれからも様々なことに挑戦してほしいと思います。

“つぼみ組とのペア”

ひかり組とつぼみ組のペアでの活動が始まりました。「ペアのお友達を紹介するね」と声を掛けると張り切って集まってきたひかりさん。つぼみ組のお部屋へ行き、いざ初対面。名前を呼ばれるまで少しドキドキ緊張した表情の子ども達でしたが、名前を呼ばれてペアの子を見つけると、なんだかお兄さん、お姉さんになったような誇らしげな顔でペアの子と手を繋いでいました。



その日から毎日、「ペアの子を起こしに行く」という役割を一生懸命頑張っています。ペアの子を起こしに行き行ってあげなくちゃ！と、いつもはお昼寝からなかなか起きられない子も、急いで起きて自分の布団を畳み、足早につぼみの部屋に向かって行きます。少しずつお互いの存在を意識し始めた11月半ば、ペアでの関わりをもっと深めてほしいと思い、お散歩に出かけました。

ペアの子と手を繋いで東三公園まで歩いていると、ひかりさんから「てつなぐのはんたいにしないと！」と、つぼみさんが歩道側を歩けるように声掛けをする姿がありました。自分たちがお世話をしてもらった時のことを思い出して、年下の子をお世話しようとするひかり組さんの姿を嬉しく思いました。



公園に着くとみんなで体操を踊ったり落ち葉を集めたり、かくれんぼをしたり…。ひかり組の遊びをじっと見て真似して遊ぶつぼみさんの姿も見られました。これからもペアでの活動の機会を大切にし、お世話をする事、お世話をしてもらうことだけでなく、様々な年齢の友達との関わりを楽しみ、お互いに安心できる存在になればいいなと思っています。



“担任の思い”

つぼみさんとのペア活動が始まったときから、つぼみ組だけでなく年下のお友達へ興味を持ち始め、自ら声をかける姿も増えてきました。運動発表会でだいち組を見て「かっこいい！」「あんな風にやってみたい！」と早速次の日築山で表現遊びごっこをしていたひかりさん。だいち組への憧れの気持ちも大切にしつつ、年下の友達にも憧れられるお兄さんお姉さんでありたいと感じることができるよう見守っていきたいと思います。

尾崎美緒

～だいちぐみ～

ねらい：「少人数での話し合いをたくさん経験する」「自分の考えを伝わりやすいようにまわりに伝える」

うた：「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」「北風小僧の寒太郎」

自分の思いや考えを人前に立って話をする事やリレーの走る順番から、園外保育の計画など、小さなことでも話し合う機会を少しずつ増やしています。自分の思いを伝えることも大切ですが、相手の気持ちに気づくこと、相手の立場に立って考える機会にも繋がってほしいと考えています。保育園生活も残りあと4ヶ月。友達とまっすぐ気持ちをかよわせる時間を大切にしたいです。



“ブラジルに行きたい”

きっとできるだいちぼうけんの日からずっとエルマーと竜を探し続けているだいち組の子どもたち。英語で書かれた手紙が届いたことから、きっと外国に住んでいるに違いないという考えにたどり着きました。すると、「聞いたことあるんやけど…。日本のずっとずっと下にはブラジルっていう国があるらしい。」とAくんが教えてくれました。それを聞いた子ども達は急いで地面を掘りだしました。

1時間掘り続け大きな穴が出来た頃、地面に向かって、「ブラジルの人～！だれか聞こえますか～！」と話し始め、「でもだめだ。英語で話さないとわからない。」と真剣に話し合いを進めていました。

穴を掘るだけでなく、宇宙についての図鑑で地球の中身はどうなっているのか、調べて地球の真ん中にマグマがあることが分かった、

「マグマの火を使って焼き芋を作ればいいんだ！」と意見を出し合う姿も

見られました。ブラジルにつく頃には空から出るのか地面から出るのか、どうやって日本に戻ればいいのか、まだまだ疑問もありますが、ひとつの興味から遊びや疑問が広がっていく様子はとてもおもしろいですね。



“だいだいだいちぼうけん”

エルマーと竜に会うために、武田尾まで大冒険に行ってきました。計画しているときから、ワクワクした様子で、コンパスや地図を作り、ダンボールで作った羽を両手に持って築山から飛ぶ練習をし、準備を進めていました。どういう作戦でいこうか話し合っていると、「暗いトンネルを通るから、ライトを持っていくけど、竜を驚かせてしまってはいけないね。」「そっと会えるといいね。」と話す子どもたち。竜のことを思い

やって計画している姿に驚きました。そして待ちに待った当日。お天気にも恵まれ、とても

綺麗な紅葉を見ながら歩きました。暗くて長いトンネルも、「だいち組18人なら大丈夫！」と、ライトを照らしながら探検しました。エルマーと竜からの贈り物も発見することができ、大喜びでした。だいち組の冒険はまだ続きます。



“担任の思い”

「エルマーとりゅうに会いたい」というひとつの思いから遊びがどんどん広がっていくだいち組。先日、表現あそびをしたときも「エルマーとりゅうが見ているかもしれないから。」と、だいち組も仲間だということを知ってもらえるように、物語に出てくる自然や街並みを表現し、りゅうを捕まえてしまった動物たちの心が優しくなるように、と思いを込めて表現する姿も見られました。大人が想像のつかない方向へと、興味関心が繋がっていくので、「どこからそこに繋がった?!」と驚く場面もありますが、子ども達の「いま知りたい！いまやってみたい！」の気持ちを大切に見守っていきます。

林 奈津美

～はま・かぜグループ～

～みんなでやきいも作り～

秋が深まった園庭では、園の畑で自分たちで育てたさつまいもを使って、やきいも作りを行いました。

「だいぼうけんの日」に作ったことがあるだい組は、ひかり組といぶき組のペアに教えながら、一緒に作ります。まず、さつまいもをスポンジで洗って、水で湿らせた新聞紙を包み、最後にアルミホイルで包んでいきます。

「ぼくはさつまいもを支えるね」「交代しながら洗おう」とひとりひとり役割を決めて作ったり、「こうやって包むんだよ」「そうそういい感じ」と年下の子どもに優しく教えながら協力して作ったりする子どもたち。みんなのお陰で、たくさんのやきいもの準備が出来ました。

午睡が終わるといよいよ楽しみにしていたやきいもパーティーの始まりです。この日は、とても天気がよく、園庭でみんなで食べました。焼きあがった芋を見て、子どもたちから「うわあ！」と歓声が上がりました。お外で、みんなで作った焼き立てを食べるのは「美味しい」と「嬉しい」気持ちも相乗効果で、さらに美味しいやきいもになりました。

子どもたちも先生たちもほくほくあったかいやきいもを食べることができて、おなかも心も満たされた秋の一日でした。



～たのしい滑り台～

今年初めてのいぶき・ひかり・だい組で行くバス遠足。行先は、いかだや長い滑り台など面白い、楽しい遊具がたくさんある「しあわせの村」でした。行先が分かった日から、子どもたちは「あと何回寝たらいけるかな」「何があるのかな」とバス遠足をととても楽しみにしていました。

年下の子どもたちは、年上の子どもが遊んでいるのを見て、「ぼくもやりたい」と同じ遊びを始めます。いぶき組の子どもは、何をしようかなと悩んでいる様子。そこへ、一人のだい組の子どもがやってきて、「一緒に滑り台しようよ」と誘いかけました。いぶき組の子どもたちは「やりたい！一緒にする」とにこにこ笑顔で返事をして、長い滑り台の方へ全力で向かいます。

しあわせの村の滑り台は、とても長く、一度滑る為には長い階段を上らなければいけません。子どもたちは楽しい滑り台をしたい気持ちでいっぱい、滑り終わっても「もう一回しよう」「もっとすべりたい」と気づけば10回以上滑っていました。年齢関係なく、年下の子どもも年上の子どもと一緒に滑ることをとても楽しんでいる姿が見られました。



“担任の思い”

今月は、やきいも作りやバス遠足、運動発表会などはま・かぜのペアと関わる行事がたくさんありました。いつもとは違った慣れていない園外保育でも、ペアの友達と一緒に遊んだり、バスの中で話したりと、楽しむ姿が見られました。いぶき組の子どもたちにとっても、傍にいと安心して落ち着く存在になってきているだろうと思います。異年齢を通じて、遊びでも一緒に考え共に楽しいことを見つけていける関わりを大切にしたいです。そして、これからも色々な行事を通して、みんなで沢山の楽しい思い出を一緒に作っていきたいと思います。

小寺 涼香 峰 夏音

～職員からのメッセージ～

私事ながら、8月に従姪（いとこの子ども）が誕生しました。親族の中で初めての出産なので親族全員が自分の事のように喜びました。しかし、コロナ渦で気軽に会いに行くこともできず、写真や動画を送ってもらい元気な赤ちゃんの姿を見ていました。10月に親族の集まりがあり、その時に初めて直接会うことができました。生後2ヶ月ほどの子どもに触れたことは初めてで小さな手、小さな足、全てが愛おしく感じました。また、小さな身体で必死に生きている姿に感動しました。それと同時に保育園の子ども達が思い浮かびました。「園庭で元気に走り回っている子ども達にもこんな赤ちゃんの時があったんだな」と、想像しただけで微笑ましく思いました。また、いとこ夫婦が親になる前と後では表情が違ふように感じ、親になる強さを実感しました。自分の親や保護者の方が当たり前の子育てをしていることに尊敬です。改めて、子ども達の成長に携われる保育士という仕事を素敵な職業だなと感じる出来事でした。

松岡 桃花

～お父さんからのメッセージ～

私は障害者の訪問介護の仕事をしています。今となってはコロナもかなり減ってきていると言われていますが、数か月前、スタッフと訪問先の利用者がコロナに感染。感染が分かる前に私もその方のところへ訪問していた為、濃厚接触者には該当しませんでした。家族に感染させてはいけなそうと思ひ、自主隔離を決断し事務所で1週間過ごしました。暮らすための場所ではないため、布団もないガスも通っていないお風呂にも入れないご飯もない。1週間とはいえこれほどまでに隔離が苦痛なものなのだと実感しました。幸い家族とはテレビ電話でやりとりができましたが、その度に「とっとちゃんいつ帰ってくる〜?」と言われ、すぐ近くにゐるのに子ども達に会えない寂しさと不安な思ひをさせてしまったと毎日胸が詰まる思ひでした。

今でも立場上、平日は帰りは夜遅く、土日はほぼ休みがないのでなかなか子ども達と遊んだりお話することができてゐませんが、会えば満面の笑みで全力で向かってきてくれます。それだけで疲れなんて吹き飛んでしまうなんて子どもって不思議だなと思わされます。

最近の子どもたちは、保育園で何をしたか誰と遊んだか等、その日の出来事を楽しそうに話してくれたり、保育園で覚えた歌やダンスを披露してくれます。それでも翌朝には保育園でバイバイするのはまだまだ嫌なようですが、健やかに元気でゐてくれるだけで安心します。成長していくにつれて親の手から離れていく寂しさはありますが、これから保育園でいろんなことを学び吸収し、どんな風に育っていくのか楽しみで仕方ありません。今後ともよろしくお願いします。

保護者の方からのお話コーナー

大好きな先生の話や、その日に遊んだお友達とのことなど楽しそうに話してくれます。体操がある日は好きみたいで体操の話も良くしてくれます。

いぶき組 ひろきさん

お布団の中で、コソコソ話をするのが大好きな息子。
最近のテーマは「ぼくが小学生になったら」
テストで0点取ったらどうしよう…
何部に入ろうかなあ…けん玉部かな。などなど
少し気が早いですが、一生懸命お話しています。

ひかり組 みよこさん

「エルマーとりゅう」のお話がとても気に入り、誕生日にプレゼントしました。

毎晩寝る前に読んでいます。とても楽しい内容で子どもとの話題も増えました。

だいち組 さちこさん

朝、機嫌が悪くても保育園用のリュックを渡すと「さっ。ほーくえん いこ！」と笑顔になります。よっぽど楽しいんだなーと嬉しく思います♡

ふたば組 ゆかさん

ふたば組から入園し、しばらくはずっと涙の毎日でしたが、今では「保育園行く〜！」帰ってきてからも「〇〇先生と遊んだ！」「〇〇ちゃん大好き」「納豆食べた〜！」と言葉でたくさんの喜びや嬉しさを報告してくれます。最近は「自分で出来る〜！」となんでも挑戦するようになり日々成長していく姿を楽しんでいます。

ふたば組 たかこさん

入園して8ヶ月。初めは帽子が嫌で脱ぎ捨てていた子どもたちが、今では自分で帽子を取り出しかぶるようになりました。送迎の際に上の園児さんたちから名前を呼ばれている姿を見ると、自分の居場所ができたのだなとうれしくなります。先生方も大好きで、帰りは姿が見えなくなっても「バイバイ」と言っています。保育園で楽しい時間を過ごせていることに感謝しています。

めばえ組 あかねさん

☆お台所より☆

お店ではクリスマスやお正月のコーナーが多くなり、今年もあとわずかとなりました。コロナウイルスなどにより、やりたい事、挑戦したい事、子どもたちとの食事や遊びお話しすることが制限されてしまう1年でしたが、そんな状況にも負けない子ども達の元気いっぱいな姿や美味しかったなどの嬉しい声が聞け、あっという間に過ぎた1年でした。

本格的な冬に近づき、より寒くなるにつれ冬野菜や果物が美味しくなります。寒さや感染症に負けない体と心が温まる食事を12月も作っていきます。

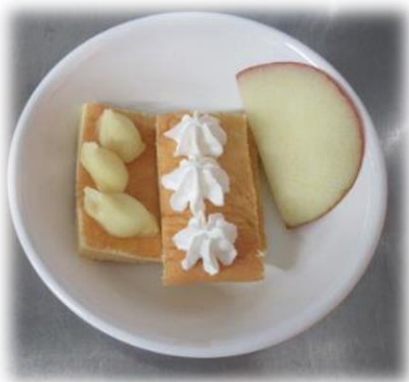
～こんなことがあったよ～

18日は園庭で焼き芋をして、理事さんから頂いた大根・かぶも茹でていただきました。お昼ご飯を食べる前にいぶき・ひかり・だいちが大きなお芋を新聞紙とアルミホイルで丁寧に包み、おやつ時間に炭でじっくりと焼きました。

焼き芋の準備をする前には、とっても長い大根と大きなかぶを青空の下、子ども達の前で切りました。

大根とかぶをお芋の炭でコトコトゆがき、藤森仕だてのお味噌のタレをつけてお芋と一緒に食べました。

焼きたてお芋とほくほくの大根・かぶで、子どもたちは体がぽっかぽかになりました。



25日は誕生日会でした。お昼ご飯は子ども達に好評の鶏肉のから揚げとリンゴの入ったポテトサラダ、つぶつぶが美味しいコーンスープを作りました。

誕生日ケーキにはモンブラン風ケーキを作りました。栗あんとホイップクリームを混ぜ、真っ白なホイップクリームと一緒にデコレーションし、今が旬のリンゴを添えました。

子どもたちはいつもと違ったケーキに興味津々で栗のクリームの中の栗のかけらに「あー栗だ!!」と嬉しそうでした。色々なケーキの考案は大変ですが、これからも喜んでくれる顔を思いながら作っていきます。

12月の献立

12月は葉物野菜の多くが旬を迎え、美味しく食べられる季節です。葉物野菜の中でもほうれん草や小松菜・チンゲン菜といった葉物野菜は緑黄色野菜であり、脂溶性ビタミンが多く含まれ、「免疫力」を上げる働きを持っています。また、脂溶性ビタミンは油に溶けやすい性質を持っているので、炒め物や油で揚げるとビタミンをたくさんとることができます。園の献立でも葉物野菜を多く取り入れています。

葉物野菜や旬の野菜をたくさん食べ、「免疫力」を挙げ、寒さ風を吹っ飛ばしましょう。

栄養士 廣田 恵 坂口 未奈美



- ・11月初旬、感染性胃腸炎の流行の際には多くのみなさまご心配をおかけしました。今後も衛生管理の徹底を行っていきます。
- ・関西学院大学より12月6日～16日まで2名の学生が保育実習に入ります。
- ・神戸元町こども専門学校の学生2名が保育ボランティアに来られます。
- ・卒園児保護者の紹介でだいちのみ園庭でトライアスロンの体験をします。詳細は後日お知らせします。

こんなことしたよ♪

11月3日は10周年記念の集いを行いました。在園児・保護者141名、卒園児・保護者111名が集いました。皆の笑顔であふれる一日が過ごせました。これからもかえで保育園らしい保育を進めていきます。



11月11日は運動会ごっこ、12日は運動発表会を行いました。11日は毎週木曜に行っている体操遊びのサーキットを始め、玉入れや綱引き、リレーなど運動会ならではの競技をみんなで楽しみました。12日はふたば・つぼみのパラバルーンやボリス（エルマーのお話に出てくる竜）のご飯運びリレー（ボール運び）だいち組の表現あそび等を発表しました。DVDに編集して後日レンタルをします。子どもたちの生き生きとした様子をぜひご家庭でお楽しみください。



★お願い★

- ・幼児クラスは室内での活動の際にはマスクを着用します。忘れずにご用意ください。園のマスクを貸し出した際は個包装されたものを必ずお返し下さい。
- ・園児だけでなくご家族の皆様の発熱・鼻水・咳やいつもと違う場合は必ず受診し病院の指示を受けて下さい。
また、少しでも風邪の症状がある場合は病院受診がないと保育を受けられません
体調不良で急遽、コロナのPCR・抗原検査などを受ける場合は必ず検査の前にお迎えにお越しください。
- ・登園後の体調の変化で連絡する場合があります。保護者の方の仕事がお休みの場合はできるだけ家庭保育、また休暇・自宅での仕事の場合は必ずお知らせください。
- ・お子さまの予防接種・受診は登園前ではなく、登園後またはお休みの日をお願いします。

12月の予定

感染症の状況で変更・中止する場合があります

- * 7日（火）子育て支援事業「アトリエ」
だいち園内トライアスロン体験
※後日お手紙を配布します
- * 13日（月）月例健診・砂場砂熱処理搬入
- * 17日（金）だいち園外保育
※後日お手紙を配布します
- * 22日（水）おたのしみ会
- * 2・9・16・23日（木）体操
- * 8・21日（水・火）絵画
- * 冬期休暇 12月29日～1月3日
- * 1号認定の方・家庭保育可能なご家庭
12月27日～1月5日冬季休み

1月の予定

- * 4日（火）お弁当日
- * 14日（金）西宮市監査
- * 22日（土）かえでフェスティバル
※保護者参加の行事です
- * 26日（水）※全園児お弁当日
※ひかり・だいち ゆきあそび
※後日お手紙を配布します
- * 29日（土）西宮市研修
※13時までの保育にご協力をお願いします